

市川市立福栄中学校 令和7年度 学習の指針(シラバス)

教科 家庭科

学年 2年

1. 学習の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、家族・家庭生活、衣生活、住生活などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する力を身に付ける。

2. 学習計画

	学習内容	学習のねらい
前期	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の選択と手入れ ・生活を豊かにするための布を用いた製作 ・住居の機能と安全な住まい方 	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解すること。 ・衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、適切にできること。 ・衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方を考え、工夫すること。 ・製作するものに適した材料や縫い方について理解し、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできること。 ・資源や環境に配慮し、生活を豊かにするために布を用いた物の製作計画を考え、製作を工夫すること。 ・住居の基本的な機能について理解すること。 ・家庭内の事故の防ぎ方など家族の安全を考えた住空間の整え方について理解し、考え、工夫すること。

3. 評価
(1) 内容および方法

	評価の内容	評価の方法
①知識・技能	・学習内容について理解している。 ・用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。	・定期試験 ・授業内で行う小テスト ・布を用いた作品
②思考・判断・表現	・日常生活と関連付け、課題とその解決方法について考え、工夫している。	・提出物の記述内容 ・発問に対する発言、表現内容
③主体的に学習に取り組む態度	・課題の解決に取り組もうとしている。 ・生活を工夫し、創造し、実践しようとしている。	・提出物の記述内容 ・授業内の学習活動全般

(2) 観点と評価の関係

			評定	<div><評価の注意事項> 家庭科の授業では、知識・技能、思考・判断・表現、主体的に取り組む態度を総合的に評価します。各観点において、とても満足できる場合をA、満足できる場合をB、努力を要する場合をCとし、各観点の評価をもとに評定を決定します。授業への積極的な取り組みと課題の内容、授業内の技能テスト、小テストなどに全力で取り組んだ結果が最終的な評価となります。基本的に授業で取り扱うもの全てが評価の参考資料となることを念頭に置き、普段の授業を大切にしましょう。</div>
A	A	A	5	
A	A	B	4	
A	B	B	3	
A	A	C		
A	B	C		
B	B	B		
B	B	C		
A	C	C		
B	C	C	2	
C	C	C	1	

4. 教科に関するアドバイス

学習活動を通して、衣生活、住生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識と技術の習得を目指しましょう。
また、家庭の機能について理解を深めたり、日常生活と関連付けながら学習し、これからの生活に課題をもって、よりよく生活するにはどうしたらよいか考え、工夫しましょう。